

2026年4月10日

イオンネクストデリバリー株式会社

～ 千葉県中心に小中学校41校、約7,000名対象に地域の安全を支援 ～

イオンネクストデリバリー、警察と連携した「交通安全教室」を実施

イオンネクストデリバリーは、4月15日から6月19日までの期間、千葉県および東京都内の小中学校計41校において、所轄警察署と共同で「交通安全教室」を実施します。



本取り組みは、子どもたちが交通ルールを正しく理解し、危険を予測する力を養うことで、日常生活における安全な行動を習慣化することを目的としています。2024年の開始以来、実施校数および参加児童・生徒数を年々拡大しながら継続的に取り組んできました。

本年は、千葉県および東京都の警察署の協力のもと、昨年度を上回る41校、約7,000名を対象に実施します。より多くの子どもたちに交通安全の重要性を伝えるべく、地域との連携を深めながら取り組みを推進します。

本教室では、当社の配送車両を実際に使用し、運転席からの「死角」や、右左折時に生じる「内輪差」による危険性を視覚的に理解できるなど、車両の特性を活かした体験型学習を実施します。

当社は、イオンのネット専用スーパー「Green Beans」の配送を担う企業として、地域社会の安全確保を重要な責務の一つとして位置づけています、今後もこうした取り組みを通じて、安全・安心な地域社会の実現に貢献してまいります。

< 「交通安全教室」の概要 >

- 実施期間：2026年4月15日（水）～6月19日（金）
- 実施校数：千葉県・東京都の小学校および中学校 計41校
- 参加人数：小学生・中学生 約7,000名
- 主な内容：
 - 配送車両の特性学習
ドライバーから見えないエリア（死角）を実際に確認
 - 内輪差のデモンストレーション
車両が曲がる際の前後輪の軌道差による巻き込みの危険性を実演
 - 横断歩道の正しい渡り方
警察官による指導のもと、正しい安全確認と手を挙げる動作の習慣化
 - 配送員の安全意識の紹介
プロのドライバーが日頃どのような点に注意して運転しているかを解説

以上